



イフサーンの間：崇拝の頂点

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ
 بَلَىٰ مَنْ أَسْلَمَ وَجْهَهُ لِلَّهِ وَهُوَ مُحْسِنٌ فَلَهُ أَجْرُهُ عِنْدَ رَبِّهِ وَلَا خَوْفٌ
 عَلَيْهِمْ وَلَا هُمْ يَحْزَنُونَ.
 وَقَالَ رَسُولُ اللَّهِ صَلَّى اللَّهُ عَلَيْهِ وَسَلَّمَ:
 إِنَّ اللَّهَ كَتَبَ الْإِحْسَانَ عَلَىٰ كُلِّ شَيْءٍ.

親愛なるムスリムの皆様！

私たちの全能の主は、次のように告げておられます。「……アッラーに自分自身をあずけている行いの善良な者には、主の御許に報酬があるだろう。彼らには恐れもなく、嘆きもないだろう。」ⁱ

また、ハディースの中で私たちの預言者ﷺはこう語っています。「本当に、アッラーはすべてのものに善を命じた。」ⁱⁱ

親愛なる信仰者の皆様！

信仰者の徳のひとつに、イフサーンの間意識があります。イフサーンの間の本質とは、完全な信仰を持つことです。全能のアッラー（スブハーナ ワ タアーラー）が無から宇宙を創造し、統治すること、またそのしもべに寛大であることを、心の底から信じることです。誰よりも、何よりも主（スブハーナ ワ タアーラー）を愛することです。クルアーンを導きとして、愛すべき預言者ムハンマド・ムスタファﷺを模範として、命を与えるイスラームの原則を規範として、誠実に受け入れることです。イフサーンの間とは、タウヒードをもって自らの内面を築き上げ、アッラーを想い起こして魂の静けさを求めることです。

親愛なる信仰者の皆様！

私たちの預言者はこう語っています。「イフサーンの間とは、あたかもアッラーを見るかのようにアッラーに仕えることである。この献身の境地に至れなくとも、アッラーがあなたを見ているということを意識しなさい。」ⁱⁱⁱ ハディースにも表されているとおり、イフサーンの間とは、ただアッラー（スブハーナ ワ タアーラー）のみのしもべとなって、いつでもアッラー（スブハーナ ワ タアーラー）を見ているかのように生きることです。

イフサーンの間意識をもって生きる信仰者は、その礼拝を自分にとってのミウラージュとします。ザカートを通して自分の収入を精神的なごりから浄め、財産に祝福をもたらし、同胞愛を強めます。齋戒によって悪から身を守り、体と魂をいやします。

イフサーンの間を知る信仰者は親切です。誰のことも傷つけません。信頼に値する人であり、信用を裏切ったり、他人や公共の権利を侵害したりしません。篤信の人であり、嘘や中傷、陰口やうわさ話、憎しみや妬みとも縁がありません。

親愛なる信仰者の皆様！

「そして主からの赦しと、諸天と大地ほど広い樂園へ急ぎなさい。それは畏れる者のために用意されたもの」^{iv} との命令に従い、ラマダンの慈悲と祝福の空気から恩恵を得るようにしましょう。主（スブハーナ ワ タアーラー）が授けてくださった祝福を、必要としている兄弟、姉妹と分かち合い続けましょう。主（スブハーナ ワ タアーラー）の赦しを喜ぶために、慈悲の道を歩みましょう。世界を美しくし、しもべとしての頂点であるイフサーンの間意識を通して、来世を栄えあるものとしましょう。

ⁱ Baqarah, 2/112.ⁱⁱ Tirmidhi, Diyat, 14.ⁱⁱⁱ Bukhari, Tafsir, (Luqman) 2.^{iv} Al-i 'Imran, 3/133.